

としょかんの広場

中央図書館では7月25日（木曜日）に中高校生向け講座「楽しく挑戦！ショートショート」の書き方講座を開催しました。申し込みの受付を開始して2日目には定員に達し、みなさんの関心の高さがうかがえました。



これまで、のべ2万人以上の方にショートショート」の書き方講座を行ってきたそうです。

書き方の手順としては、まず不思議な言葉をつくり、そこから想像を広げて短い物語にしていくそうです。参加者からも「糸になった日本列島」などユニークな言葉がでました。

書く時のコツは、自分で書いた言葉は絶対に消さない、付け加えたり言葉を切り取るのはOK、思いついたことを書いた後は他にないかなとまだ考える、より具体的にできるように考えていく、などだそうです。

また、視点を変えてみる。変えるだけで違ったものになるとのことでした。



講師の田丸雅智さんはショートショート作家として多くの作品を書かれているだけでなく、本市で使用している国語の教科書などでショートショートの書き方について執筆されている他、講習会やインターネットを通じて文章を書く楽しさを伝えていきます。

今回の講座では参加者がワークシートを使って、この講座の時間内に1本のショートショートを書きました。



みなさん集中して制作していました。

「文章は長ければいいというものではない。書くことを自由に楽しんでほしい。言葉の使い方や漢字を間違ったらどうしようとか気にしなくていい。柔軟に書いてみよう！」と田丸さんからアドバイスがありました。

田丸さんは小さい頃は文章を書くのが苦手だったそうです。「すごく本を読んだり文章を書いた人が作家になるわけではないんですよ。」と聞いて、みなさんの緊張もほぐれたようでした。



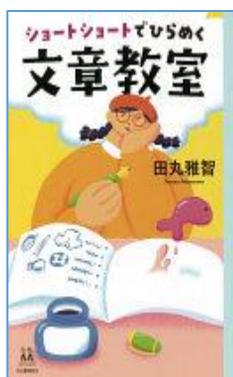
作品を発表する参加者

制作時間の後は、お互いに作品を見せあったり読み上げ、オリジナリティのある不思議なお話を発表しました。そうすることでいい刺激になり、新しい発見につながるそうです。

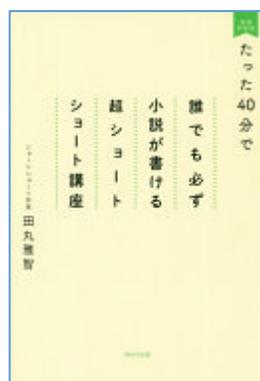
文章を書くことで文章力・発想力・論理的思考力が育ちます。ショートショートの創作を通じてそれらを強化でき、いろいろな力に繋がっていく。日常の見え方が変わる。空想で世界を彩ることができるんですとのこと。

ショートショートの魅力をたっぷり感じた講座でした。

参加した方は、「小説を書いたのは初めてだったけどちゃんと書いてよかった。」「最初は物語をつくるのにハードルを感じていたけど、思っていたより簡単に書けた。」など、初めてのショートショート制作を楽しまれたようです。



書名: ショートショートでひらめく文章教室 (14歳の世渡り術)
著者: 田丸雅智
出版社: 河出書房新社
出版年: 2021年
所蔵館: 中央

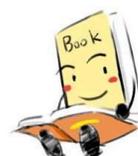


書名: たった40分で誰でも必ず小説が書ける超ショートショート講座
著者: 田丸雅智
出版社: WAVE出版
出版年: 2020年
所蔵館: 東習志野

中央図書館カレンダー

(色の付いた日が休館日です)

○の付いた日: 全館休館日
△の付いた日: 東習志野・新習志野・谷津は図書整理日のため休館 (中央図書館は開館)



令和6年(2024年)8月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	△2	3
4	⑤	6	7	8	9	10
11	12	⑬	14	15	16	17
18	⑱	20	21	22	23	24
25	⑳	27	28	29	30	31

令和6年(2024年)9月						
日	月	火	水	木	金	土
1	②	3	4	5	△6	7
8	⑨	10	11	12	13	14
15	16	⑰	18	19	20	21
22	23	⑳	25	26	27	28
29	⑳					

令和6年(2024年)10月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	△4	5
6	⑦	8	9	10	11	12
13	14	⑮	16	17	18	19
20	⑰	22	23	24	25	26
27	⑳	29	30	31		

★編集後記★

田丸さんの「すごく本を読んだ人、文章を書いた人だけが作家になるわけではないですよ。」という話がとても印象に残りました。もっと気軽に書くことを楽しんでみよかなと思いました。

中央図書館報 としょかんの広場第25号 (通巻109号)

発行日: 令和6年8月1日

編集・発行: 習志野市立中央図書館

電話: 047-475-3213

<https://www.narashino-lib.jp>

